

はた 里地棚田保全整備事業 畑地区

地区概要

所在地：高島市高島町畑

主要工事：

- 動物誘導柵 4,500m
- 農業用排水路 500m
- 農道拡幅舗装 1,600m
- 総事業費：178百万円
- 工期：平成14年度
～平成18年度



事業目的

動物誘導柵を設置することにより獣害被害から農作物を守り、漏水等で維持管理が困難な用水路の整備と農作業機械と軽トラックの行き違い困難な農道の拡幅舗装を行うことにより、営農条件の改善を図ります。

事業効果

当地区が「日本の棚田百選」に選定されたことを契機に地元では棚田を守る気運が高まっています。

そのような中、動物誘導柵や交流施設の整備は、獣害のない安定した農業経営や都市住民との交流が図れ、耕作放棄の防止と遊休農地を利用した新たな取り組みとなり、地域活性化が図れています。

今後の課題

高齢化や後継者不足による維持管理が今後の課題です。

また、棚田を守る取り組みが継続するよう、地域リーダーの育成やオーナー制度など、引き続きソフト支援が必要です。

受益者等の意見

動物誘導柵による獣害被害の軽減により、営農意欲が高まりました。

整備された交流施設を利用して棚田を守る取り組みを続けていきたい。

事業実施状況

生物生息環境に配慮した用水路および、自然景観に配慮した動物誘導柵により野生生物との共存が図れるよう整備しました。

用水路



動物誘導柵



農道拡幅舗装



ふれあい交流施設



手作り展望台



受益者等の意見

動物誘導柵による獣害被害の軽減により、営農意欲が高まりました。
整備された交流施設を利用して
棚田を守る取り組みを続けていきたい。

今後の課題

高齢化や後継者不足による維持管理が今後の課題です。
また、棚田を守る取り組みが継続するよう、地域リーダーの育成やオーナー制度など、引き続きソフト支援が必要です。

事業効果

当地区が「日本の棚田百選」に選定されたことを契機に地元では棚田を守る気運が高まっています。
そのような中、動物誘導柵や交流施設の整備は、獣害のない安定した農業経営や都市住民との交流が図れ、耕作放棄の防止と遊休農地を利用した新たな取り組みとなり、地域活性化が図れています。